

ひとよし 市議会だより

第96号



2018 / 平成30年5月1日 発行



人吉市に譲渡予定の矢岳駅舎

主な内容

- ② 3月定例会報告
- ⑥ 市政の内容を問う
～一般質問に14名の議員が登壇～
- ⑪ 保育園連盟との意見交換会
- ⑫ 議会報告会・意見交換会
～たくさんのご意見を
ありがとうございました～

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会
人吉市下城本町1578番地1
☎ 0966-22-2111(代)
E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます
URL <http://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

3月定例会報告

平成30年3月第1回定例会は2月26日から3月23日までの25日間開催され、条例18件、予算17件、人事3件の計38議案を審査しました。

平成30年度 一般会計予算

182億1,570万1千円 可決

(前年度比 16億3,292万7千円の増)

平成30年度一般会計予算の主なもの

新庁舎建設工事、新庁舎
建設関連用地購入等



21億538万4千円

人吉しごと
サポートセンター
運営経費



2,808万3千円

(仮称)
まち・ひと・しごと
総合交流施設管理費
3,033万1千円

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の
選任に同意した方

多武 芳美 氏

教育委員会委員の任命に同意した方

西口 詳一郎 氏

監査委員の選任に同意した方

井上 祐太 氏

審議された議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果	番 号	件 名	議決結果
議第1号	平成29年度 人吉市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	議第21号	人吉市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第2号	平成29年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第22号	人吉市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第3号	平成29年度 人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第23号	人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第4号	平成29年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第24号	人吉市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第5号	平成29年度 人吉市介護サービス事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第25号	人吉市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決
議第6号	平成29年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第26号	人吉市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第7号	平成29年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第27号	人吉市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第8号	平成30年度人吉市一般会計予算	原案可決	議第28号	人吉市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第9号	平成30年度 人吉市球磨地域交通体系整備特別会計予算	原案可決	議第29号	人吉市における地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第10号	平成30年度 人吉市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	議第30号	人吉市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第11号	平成30年度 人吉市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	議第31号	人吉市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第12号	平成30年度 人吉市介護保険特別会計予算	原案可決	議第32号	人吉市国民宿舎条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議第13号	平成30年度 人吉市介護サービス事業特別会計予算	原案可決	議第33号	人吉市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第14号	平成30年度 人吉市水道事業特別会計予算	原案可決	議第34号	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について	原案可決
議第15号	平成30年度 人吉市公共下水道事業特別会計予算	原案可決	議第35号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	選任同意
議第16号	平成30年度 人吉市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決	議第36号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	任命同意
議第17号	人吉市個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第37号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	撤回
議第18号	人吉市職員の退職手当の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第38号	平成29年度 人吉市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議第19号	人吉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第39号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	選任同意
議第20号	人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決			

※表決が割れた議案については、11ページに記載しています。

請願・陳情等の議決結果

付託委員会	件 名	議決結果
経済建設	農道整備(拡幅・舗装)に関する陳情書	継続審査

総務文教委員会報告

●委員長 大塚 則男 ●副委員長 宮崎 保
●委員 平田 清吉・犬童 利夫・西 信八郎・本村 令斗

人吉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例など3条例改正を承認

平成30年4月1日から非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部が改正されることに伴い、公務災害補償額の算定に必要な扶養親族加算額の改正などに係る条例改正を行うものです。他に2件の条例改正を承認しました。

平成29年度補正予算を承認

○市庁舎建設事業に係る継続費を52億7,117万2,000円に変更

平成29年度の市庁舎建設事業に伴う環境整備の進捗状況及び、国・県との協議を踏まえ継続費設定額を変更するもので、駐車場用地・補償費が災害復旧事業債として起債が可能であるとの見解をいただいたことから増額変更するものです。

○小・中学校体育館照明の固定化とLED化に係る事業費を計上

繰越明許費補正の追加及び追加補正予算の3,450万円

は、小学校、中学校の屋内運動場非構造部材耐震化事業を学校が休業期間中に実施するため、年度内完了が困難な事から繰り越すものであり、内容は、小学校、中学校の屋内運動場非構造部材改修事業で体育館照明の固定化とLED化を行うものです。

平成30年度当初予算を承認

主なものとして、市庁舎建設事業費21億538万4,000円は、新市庁舎建設における本体工事に要する経費と駐車場確保のための用地・補償費等です。また、大規模災害時における避難場所でのマンホールを活用したトイレ8基分の設置工事に要する経費の予算1,440万円が計上されており、平成30年度設置箇所は、人吉市立第一中学校の予定です。

新たな取り組みとして田野、大塚、桑木津留地区へのスクールタクシーの導入が行われます。

町内から要望があっていました326基分の防犯灯設置の経費についても予算計上があっており、経費については、人吉応援団基金から充当されます。

厚生委員会報告

●委員長 高瀬 堅一 ●副委員長 永山 芳宏
●委員 塩見 寿子・井上 光浩・三倉 美千子・田中 哲

新国保制度移行に伴う条例改正案等を承認

主な条例改正は「人吉市国民健康保険税条例」、「人吉市後期高齢者医療に関する条例」、「人吉市介護保険条例」、「人吉市下水道条例」と他の7案件で合計11案件です。

主な改正内容は、国保関係で新国保制度への移行による課税額の定義が変更され、熊本県国民健康保険運営方針も策定されました。介護納付金分については所得割と均等割により課税することが明記されたため、平等割を廃止し均等割額を13,500円から16,000円に改正するものです。

高齢者医療制度に関しては、持続可能な医療保険制度を構築するために、国民健康保険法が改正されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。

介護保険関係については、介護保険法の保険料の改定及び対象者の範囲を拡大するための条例の一部を改正するものです。

提案されている介護保険料の額は、第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの介護保険制度を運用するにあたり、市では金額6,490円を介護保険料の標準負担月額とし、段階区分を施行令に定める標準段階区分とされています。

下水道関係では「人吉市水道条例」の一部改正に伴い「人吉市下水道条例」も一部改正するもので、条項の削除や規定の追加、文言の整理を行うものです。

国民健康保険と介護保険の一部改正に関して、委員から「保険料が上がり、市民、特に高齢者に負担がかかるのではないか」との反対意見もありました。

平成29年度市民部・健康福祉部・水道局の補正予算、平成30年度の当初予算を承認

当初予算には、現地視察を行ったおこば保育園の移転改築に係る補助金、原城配水池造成工事費等が計上されています。一般会計・特別会計あわせて、14件の予算について、慎重に審査し原案のとおり承認いたしました。



移転改築が予定されているおこば保育園

経済建設委員会報告

●委員長 笹山 欣悟 ●副委員長 豊永 貞夫
●委員 宮原 将志・福屋 法晴・村上 恵一・仲村 勝治

人吉市国民宿舎条例の廃止を承認

人吉市国民宿舎くまがわ荘は、昭和39年3月に国民の健全なレクリエーションと健康の増進を図り、国民の誰もが低廉でしかも快適に利用できることを目的として設置されました。開業当初から市の直営施設として運営してきましたが、赤字経営のため廃止が検討されたこともあり、その後平成11年にくま川下り(株)に民間委託、平成18年に指定管理者制度に移行後も、引き続き同社を指定管理者として運営を継続してきました。平成28年9月に、同社から市へ「施設の老朽化及び業績不振が継続したこと」等を理由に平成29年度以降の更新を行えない旨の申し入れがあり、平成29年3月をもって閉館となりました。施設の老朽化、国内旅行者の減少、旅行者ニーズの二極化等の要因により、国民宿舎として再開しても業績の回復は見込めない状況であることから、「住民及び滞在者の保養並びに健康増進を図り、あわせて観光事業の発展に寄与するため」の国民宿舎としての所期の目的は果たされたことから廃止するものです。

閉館後の利活用については、(仮称)旅カフェエントランスセンターの設置や、起業・創業支援センターと温泉を併設した(仮称)まち・ひと・しごと総合交流施設としての整備を計画しています。

工事請負契約の締結の議決内容の一部変更を承認

平成29年6月議会において議決された曙橋補修工

事に係る工事請負契約の締結について、現塗装の塗膜の成分検査を行った結果、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、鉛等が検出されたため、環境的被害がないよう塗膜剝離剤を使用した工法に変更するため、工事請負額の変更及び工期の変更を行うものです。工期は、平成30年12月28日までと変更し、工事請負額は、2億4,300万円から4億4,102万3,355円に変更するものです。

一般会計当初予算、経済部関係に8億3,573万9,000円、建設部関係に18億1,403万1,000円を計上

主なものは、農業次世代人材投資事業、多面的機能支払交付金事業、スマート林業展開事業、IT企業等協創促進業務委託料、人吉しごとサポートセンターに係る業務委託料、サテライトオフィス等誘致事業補助金、人吉・球磨スマートインターチェンジ整備委託料、曙橋補修工事、景観計画策定委託料、社会資本整備総合交付金事業等です。



下林地区水路測量設計業務委託実施箇所

議会運営委員会行政視察報告

●委員長 村上 恵一 ●副委員長 本村 令斗
●委員 高瀬 堅一・宮崎 保・平田 清吉・豊永 貞夫・福屋 法晴・永山 芳宏

日程:平成30年1月29日(月)～31日(水)

研修先:愛知県安城市

項目:議会改革について(特にタブレット端末の活用について)

内容:安城市でのテーマは、タブレット端末(指で操作できる簡易パソコン)導入による、予算書や資料の電子化についてです。

安城市議会では、平成27年の改選後に、議会の見える化の手段として、電子化から取り組むことになり、議員6名のプロジェクトチームを発足させました。

検討の結果、本格的導入を決め、平成28年2月初旬にタブレットを配付することになり、操作講習会を繰り返し行った後、1カ月で議会本番を迎えたということです。

従来は、1年間に議員1人に対して配る書類がおよそ1万枚でしたが、議案書や各種資料の電子化で紙による資料が減っただけでなく、事務局から議員への各種連絡やスケジュール管理もタブレット1つで行えるようになりました。

導入された議会後のアンケートでは、議会中にタブレットを利用した割合が5割以上と答えた議員が全体の64%、端末で手書き入力した人も89%という結果から、

多くの議員が、短い期間で使いこなしたことがわかります。

まとめ:電子化については、多くの委員が必要であるとし、プロジェクトチームを結成し検討していくべきであるとの意見が大半でした。

視察先:兵庫県宝塚市

項目:議会改革について(特に、委員会における自由討議について、委員会報告書について)

内容:宝塚市では、委員会採決前に自由討議を行うという取り組みが行われていました。その内容は、委員会において、議案の採決が、どのような形で意思決定されたのか、説明責任を果たしていくために、議員同士でも「自由討議」という形で議論を行い、意思決定のプロセスを公開するというものです。

まとめ:自由討議については、本市の場合、委員会の協議会(委員会の所管事項に関し、協議などを行う場)において、委員同士が議論を交わしているの、現在の方法で良いのではとの意見がほとんどでした。

今回の2カ所の視察を基に、議会の見える化のために必要なことを、全議員で議論を重ねた上で今後の方向性を決め、検討していきたいと考えています。

市庁舎建設に関する特別委員会報告

●委員長 永山 芳宏 ●副委員長 高瀬 堅一

●委員 塩見 寿子・犬童 利夫・西 信一郎・笹山 欣悟・村上 恵一・三倉 美千子・仲村 勝治

土地利用計画案

土地利用計画案については、土地利用概念的なこと・公共施設の有効利用と土地利用の関連性について・新庁舎建設に伴う倉庫等及び駐車場確保計画案等が示されました。特に、倉庫等確保計画検討案については、現在使用中の西間別館倉庫は、新庁舎建設に伴い解体されるため、倉庫に入っているお城まつりや人吉温泉春風マラソンの機材を移す必要があり、九州財務局と具体的な交渉が進む中で、旧法務局を活用すると人吉城周辺を会場に開催される、祭りやマラソン大会時の機材移動にも距離的にも近く、面積も700平米から800平米あり適地である、との説明がありました。

旧法務局を取得することを承認決定

旧法務局を取得することの優位性については、旧老人趣味の家用地に倉庫を新規で建設する場合、財源として交付税措置のない一般単独事業債の発行となり、単年度一般財源持ち出し、起債発行に伴う利子償還をあわせ

約6,000万円が必要になる。一方、旧法務局を購入する場合、旧老人趣味の家用地に倉庫等を建設する必要がなくなり、土地の売却費の活用が可能になる。また、旧法務局の立地場所は、マラソン大会や祭り及び出初式会場に近く、倉庫兼作業所として利用する事が可能で、イベント開催時の機動・効率性が高くなる。委員からは、電気設備工事、維持管理、公共施設等総合管理との整合性などについて質疑がありました。審議の結果、旧法務局を取得することを承認決定いたしました。

新市庁舎建設事業に係る継続費の変更

6月議会において期間を平成29年度から平成32年度、継続費の総額を51億4,030万円で設定されていましたが、平成29年度の新市庁舎建設事業に伴う環境整備の進捗状況及び国・県との起債協議の内容を踏まえ、別館横の民有地の3件分と県有地1件分の用地取得費分の1億3,087万2,000円を増額し、52億7,117万2,000円に変更することになりました。

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 福屋 法晴 ●副委員長 宮崎 保

●委員 宮原 将志・大塚 則男・平田 清吉・井上 光浩・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲

防災行政無線を旧庁舎から西間別館へ移設

平成30年2月27日に、第14回治水・防災に関する特別委員会を開催し、熊本地震に伴う防災行政無線の移設に係る協議を行いました。

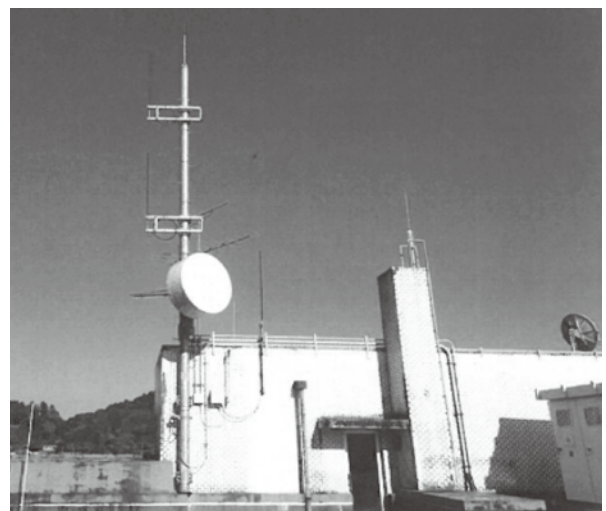
協議の中で、熊本地震による市役所麓町本庁舎の被災に伴う庁舎解体計画により、防災行政無線親局の移設が必要となり、現在、防災安全課があるカルチャーパレス仮本庁舎への移設調査の検討をしましたが、高塚山中継局へ安定して電波が通らない可能性が高いとの調査結果であったと説明がありました。

また、現行計画での移設可能性を再度検討する必要が生じ、電波環境を持続するため、防災行政無線の移設候補先として、「仮本庁舎」と「西間別館」の2カ所をミラー光調査による比較検討を行い、現状のままでも通信が可能である西間別館への移設のほうが、事業費が抑えられるとの結果を踏まえ西間別館に決定されました。防災行政無線親機移設工事費は、3,831万8,400円です。工事概要は親局機器移設工事、非常用発電機・機器撤去工事などです。

また、Jアラート機器も同じく西間別館へ移設することとし、委託金が283万7,295円で、委託概要は、Jアラートシステム機器一式で、アンテナ、受信機、自動起動装

置、非常用電源などの移設工事です。

この防災行政無線親局設備、Jアラートの移設先について、現地視察を行いました。現地にて、大雨の際には電波の周波を強くするように設定している。メンテナンスについては、毎年一回行う。発電機については、毎月1回防災安全課が行うとの説明がありました。



西間別館に移設された防災行政無線親局

一般質問

～市政の内容を問う～

一般質問とは、年4回行われる定例会で、議員が市に対して政策の見直しや新たな政策を提言する議員の重要な活動の一つです。

3月定例会では、3月7日から9日までの3日間で14人の議員が登壇し、さまざまな視点から活発な議論が行われました。

その要旨を各議員が報告します。掲載は質問順としています。

川上哲治記念球場の

安全対策について



笹山 欣悟

問 投球練習の投球方向が外野側から内野側となっており、ベンチ周辺の人たちに危険が及ぶので、投球方向を反対に整備できないか。

答 現在の投球方向は、球場内にある設備としてはごく一般的なものであるが、危険が及ぶ可能性は否定できないので、その対策が必要であると感じた。施設利用者及び野球関係者から意見を頂戴するなどして整備を進めていきたい。

問 グラウンド内の散水栓が使いにくいいため、ピッチャーマウンドの後方に設置できないか。

答 管理者として、円滑な大会運営に配慮することも大切なので、水道局等と協議の上、グラウンド整備とあわせて取り組みたい。

鉄道ミュージアム・

人吉中核工業用地の今後



平田 清吉

問 鉄道ミュージアムの運営費は。

答 昨年度の運営費は、1,587万4千円。地方創生推進交付金は平成28年度から事業採択を受け、平成30年度までとなっている。平成29年度の交付金は、委託料の約6百万円を計上。

問 人吉中核工業用地には、平成29年度に食肉加工関連企業を誘致し、50名以上の雇用を生み出すとしていたが。

答 開発行為に伴う熊本県の完了が昨年12月に公告され、誘致企業を受け入れるためのハード面の環境整備を完了した。今後は、屠畜場設置に伴う許認可などクリアすべきさまざまな課題を解決し、マザー工場となる㈱カミチクの誘致とハラル関連企業の誘致を進めていきたい。

MTBI（軽度外傷性脳損傷）

について



西 信八郎

問 MTBI（軽度外傷性脳損傷）について、人吉市は認識して対応しているのか。

答 スポーツ外傷や交通事故や転落等、頭部に物理的な力が加わった結果、頭の中で脳が揺れ動くことによつて起こる脳の損傷と考えられており、むち打ちや乳幼児の揺さぶり等によつても生じる。主な症状として、耳鳴り等の感覚障害、一部に理解力、記憶力、集中力が低下する高次脳機能障害、平衡感覚障害等の身体障がい、頭痛、目まい等の自律神経症状等、さまざまな症状がある。また、MRI等の画像検査でも異常が写らないことが多く、気づきにくい。MTBIについて関係機関と連携を図り、周知徹底していく。

旧国民宿舎くまがわ荘の

利活用と費用対効果



大塚 則男

問 建物全体のリフォームに係る経費、運営経費、費用対効果、維持経費についての考え方は。

答 平成30年度に係る経費として、人吉しごとサポートセンター部分の整備費500万円、建物全体の基本設計、実施設計として1千万円を見込んでいます。全体の改修費用として概算で5千万円としている。これについては防水や外壁改修工事など行うことから、最低での見込みとしている。全てのリフォームとなると、これ以上の金額が見込まれることから、劣化調査の結果で必要最低限を優先しリフォームを行っていく。維持経費を含めた費用対効果については、市直営で年間の維持経費を1,500万円ほどを見込んでいる。

人吉市機能別消防団の

資機材配備状況は



福屋 法晴

問 機能別消防団の活動中における事故補償は。

答 人吉市消防団員と同様に消防団員等公務災害補償を適用する。

問 矢岳町・田野町・鹿目町の、機能別消防団詰所の装備状況は。

答 基本、通常の部と同様に小型ポンプ積載車、団員には、安全靴、ヘルメット、法被を貸与している。

問 初期消火が火災の拡大を防ぐため、配備されているジェットシューターなどの点検・整備が必要ではないか。また地域の意見交換を行っているのか。

答 現場からも見直しの声が出てきているので、直接話を聞く場を設けたい。ジェットシューターの配備を含め、資機材について、計画的に配備していきたい。

国保の広域化に伴う 平成30年度の国保税は



塩見 寿子

問 国保税額はどうなるのか。

答 県の運営方針に合わせて介護納付金の平等割を廃止、均等割を1万6千円にする。その他は現行のまま。改正による影響は、40～64歳の第2号被保険者の81%が2,700円の減額。

問 国保税が上がらなかったのはよかったが、重税感解消していない。そのままである。滞納状況はどうなっているか。

答 28年度は滞納が867世帯。

問 滞納者が27年度の959世帯より減ったのは、保険税額を28年度に減額したからではないか。滞納を減らすためにも、保険税を引き下げるべきではないか。

答 財政の健全化、安定化の中で、被保険者の負担軽減につながるような医療保険制度を推進する。

有害鳥獣対策について



宮崎 保

問 有害鳥獣個体数の調査は。

答 市町村単位では行っていない。県で5年に1度、シカのみ行っている。本市の推定生息数は平成26年度で2,905頭である。

問 被害面積と被害額の現状は。

答 27年度が13ヶ所の約1,949万円、28年度が9・6ヶ所の約1,509万円。ただし任意の調査のため、報告にない被害を含めると、これを上回る数字になる。

問 電気柵補助を、自給農家や設置の人件費まで広げられないか。

答 補助対象は販売目的の生産農家としており、自給農家は考えていない。また、資材費に対する補助なので人的経費は対象外だが、今後の検討課題としたい。
※その他、肥薩線駅舎の活用について質問した。

給付型奨学金制度の創設を



本村 令斗

問 働いても貧困が温存される若者の状況を、認識しているか。

答 非正規雇用の増加が進んでいることを考えると、今すぐに解決が難しい、現代の日本が抱える重大な問題だと認識している。

問 奨学金の返還が困難になる中、給付型の制度を創設する自治体がある。人吉市でもできないか。

答 行政が行う奨学金の役割や各自治体の状況を調査し、財政状況を見ながら、検討を始めたい。

問 子育て支援のため、第3子以降の子どもに対し国保税の均等割を減免する自治体が生まれている。人吉市でもできないか。

答 新制度における持続可能な医療保険制度が確立される中で、参考資料や事例の収集、調査研究に努めていきたい。

選挙公約の実現と

自主財源の確保について



高瀬 堅一

問 「チェンジ人吉」として、3つの大きな柱と108項目の政策を選挙公約に掲げられた。この公約は、最終年度を迎えるにあたり、完全実施できるのか。

答 完全実施に向けて取り組んでいきたい。しっかりと公約を検証して、優先順位を決め完全実施に向けて進めてまいりたい。

問 自主財源がなければ、事業の実施は望めない。今後財源確保や措置をどう講じるのか。

答 今回が一番大変な予算編成であった。財源がないので、市税、保育料、市営住宅使用料等の滞納を解消し、収納率向上に努めたい。「ふるさと納税」は来年度は3億円を目標とする。

※その他、平成30年度当初予算の活性化事業について質問した。

中心市街地に

図書館の移転を



村上 恵一

問 市が目指す新図書館像とは。

答 規模は千平方メートル程度で、さまざまな資料等を収集・保存・提供するとともに、更に窓口機能の充実を図り、市民の生涯学習活動を支援できる社会教育施設を目指したい。

問 市中心部へ図書館を移転する計画が検討されていたが、実現しなかったようだ。今後、諦めることなくプロジェクトチームを結成し、実現に向け頑張っているのか。

答 公共施設の適正配置も含め、土地利用計画を踏まえて検討すべき課題が多い。市街地への図書館等の公共施設の設置を目指して、企画政策部を中心としたプロジェクトチームを設置し、着実に検討していきたい。

心肺蘇生教育と、

ピロリ菌検診について



豊永 貞夫

問 昨年公示された中学校新学習指導要領では、「心肺蘇生法などAEDを使用した実習を通して、応急手当ができるようにする」とのこれまでより進んだ内容で明記されているが、本市の現状と今後の取り組みは。

答 現状としては、今年度から小中学校の2校がAEDを使用している。来年度から3年間の移行期間を経て、2021年からAEDを使用している。実習を目指していく。

問 天草市、宇城市の2市では「ピロリ菌検査」を既に実施、来年度から実施とされているが本市でも実施できないか。

答 医学的根拠が必要のため、他市の状況を注視しながら人吉市医師会と協議を重ね検討したい。

災害時道路調査と

学校・地域の防災について



犬童 利夫

問 災害緊急輸送道路及び市内の道路調査を行っているか。

答 災害緊急輸送道路は、避難、救助や物資供給の活動のための緊急車両の通行を確保すべき重要路線であり、日ごろから職員による道路パトロールを実施している。また、上下水道長寿命化計画に伴う下水管内カメラ調査と道路調査をあわせて実施。

問 学校と地域が連携した避難所設営や訓練の実施と、人吉東小学校の避難所の開設は。

答 文科省が提示した、家庭・地域・関係機関と連携した訓練のあり方を検討する。東小学校を避難所として開設する問題点等を考慮し、関係町内と協議する。災害時マンホールトイレの設置や使用方法の協議も必要である。

石野公園の道の駅構想の

取り組みについて他



宮原 将志

問 石野公園を核とした観光・物産振興を展開していくために、民間事業者が運営を行う考えは。

答 さらなる魅力化に向け、今後は民間主導による管理運営体制への移行、指定管理も視野に入れた管理体制の強化策が必要。

問 石野公園の道の駅登録を目指すのか、市長の考えは。

答 石野公園の道の駅構想は、地域活性化の面からも有効な施策であると考えているが、市庁舎建設事業等で財政状況が厳しい中で、新たな財政負担が考えられる道の駅構想については、今しばらく検討したい。

問 不登校の早期発見に有効とされる「Q-U」導入の考えは。

答 予算面や学校の要望等も確認しながら、前向きに検討したい。

小学校部活動社会体育移行へ

現状と課題は



井上 光浩

問 平成31年度からの小学校部活動社会体育移行については、当初の計画からすると実施方法が変わっているが。

答 御指摘のように、当初は各校区の公民館活動としての取り組みとする計画だったが、思い切って方針を転換させ、各学校にて種目別でなく総合的な運動として取り組むことになる。

問 県の補助を活用するのか。

答 補助事業として、県の放課後子ども教室として実施したい。

問 今後関係団体との協議が必要になってくるが、教育委員会としてどのように進めていくのか。

答 非常に大変な時期だが、真剣に取り組む。試行する来年度は、議員の提言を大切に、責任を持って取り組みたい。

保育園連盟の皆さまとの 意見交換会を行いました

1月23日、市役所仮本庁舎において、厚生委員会
が人吉市保育園連盟の皆さまと、「保育園予算と人
吉市の現状及び子育てにおける人吉市の展望につ
いて」をテーマに意見交換会を行いました。

意見交換会では、保育園連盟から、国の子ども・
子育て支援新制度に関する概算要求の主要政策及
び人吉市の地域子ども・子育て支援事業について
の説明を受けました。

議員から、「保育士の育成と地元への就職は」「軽
度障害児の保育はどうなっているか」「突発的に病
気や熱発になった場合は」「保育園運営の財政状況
は」などの質問があり、保育園連盟から「運営費の
8割は人件費、2割で食費・事務費・遊具費など
で余裕がない。運営はできているけれど、やり方を
工夫してなんとかやっているのが現実だ」など問
題点が出されました。

また、「建て替えのために積み立てをしていたら
使えと国は指導する。余っているわけではない」
「部活がなくなるから学童保育が増える可能性が
ある。市へ財政の確保をお願いしたい」「人吉市と
周辺自治体の格差が出てきている」など意見・要
望が出され、活発な意見交換が行われました。



意見交換会の様子

平成30年3月定例会で「表決が割れた」議案とその議員別表決

2ページの審議された議案等の議決結果のうち賛否が分かれたもののみを掲載しております

議案 番号	議 員 氏 名 議 案	塩見	宮原	高瀬	大塚	宮崎	平田	犬童	井上	豊永	西	本村	笹山	福屋	村上	永山	三倉美	仲村	田中
		寿子	将志	堅一	則男	保	清吉	利夫	光浩	貞夫	信八郎	令斗	欣悟	法晴	恵一	芳宏	千子	勝治	哲
議第10号	平成30年度 人吉市国民健康保険事業特別会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
議第12号	平成30年度 人吉市介護保険特別会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
議第20号	人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
議第21号	人吉市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
議第24号	人吉市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	

○：議案に対して賛成

●：議案に対して反対

／：議長は表決に加わりません

平成29年度 議会報告会 及び 意見交換会を開催しました

開催日時:平成30年2月3日(土)午後2時

開催場所:東西コミュニティセンター



人吉市議会では、市民の皆様に対し議会情報を提供するための一環として、日頃の議会活動の状況を報告するため、今回8回目となる「人吉市議会報告会及び意見交換会」を開催しました。ご参加いただきました皆様には、お忙しい中、会場に足を運んでいただきありがとうございます。会場でいただいた貴重なご意見やご要望は、市議会としまして、今後の議会活動の参考とさせていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

会場でいただいたご意見・ご要望 (アンケート含む)

- 下水道料金について、一人世帯には負担軽減策を検討してほしい。
 - 自転車道の整備を進めてほしい。
 - 「市議会だより」の議員別表決の記載があるのは良いことだと思う。
 - 「見える議会」をつくることの必要性を強く感じた。
 - 庁舎の経費が予想以上にかかることは、気になるところ。
 - 放課後保育事業において、10数年にわたり、5校区の学校より送迎をしている。国・県は、送迎費用について予算をつけているが、人吉市は予算がないというて出していない。隣の山江村は、きちんとガソリン代が出ている。議会としても、ぜひ検討していただきたい。
 - ごみ収集が正月に休みになるのは、ごみが家庭内やごみ収集所にいっぱいになり迷惑である。正月中もごみを収集するなど工夫してほしい。
 - 市庁舎建設費が増額していることに驚いている。負担増にならない約束だったと思う。
 - 人口減少対策は人吉球磨10市町村でどのように協議されているのか。
 - 旅カフェエントランスセンターはいつ頃オープンするのか。温泉はどうなるのか。
 - 青井神社の漆の塗り替えには膨大な漆が必要となる。それを人吉産の漆で賄えたら素晴らしいことである。人吉は昔は漆の産地だったからできないことはない。産業にもプラスになる。そういったことを考えて取り組んでいただきたい。
 - こういう機会はあるとふやしてほしい。
 - 活動や取り組みがじかに聞けてよくわかった。
 - 市民の関心がいまいち。頑張らないといけない。
- ※ 他にもさまざまなご意見等をいただきました。

議会報告会について

編集後記

今年の冬は、寒さも厳しく長い冬でした。梅の開花も遅れていたものが、3月議会の委員会審議のころに満開になり、議会閉会ごろには、桜が満開になりました。一気に春を迎えた議会でした。

人吉市議会では、開かれた議会を目指して、昨年6月より「市民と議会の意見交換会」を始めました。この議会だよりが配布されるまでには、4回の意見交換会が行われ、全ての常任委員会で行われたことになりました。市民のみなさんに活用していただいていることを、大変うれしく思います。今後とも市民の声を大切にしながら、市政発展のために力を尽くしてまいりたいと思います。みなさんの声をお気軽に人吉市議会にお寄せください。

(写真・文責…

本村 令斗)

次の定例会は
6月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長/田中 哲 副委員長/仲村 勝治
委員/高瀬 堅一・大塚 則男・豊永 貞夫・本村 令斗・笹山 欣悟・永山 芳宏